

報道関係者 各位

事業・ファイナンス局の設置及びCFOの就任について

筑波大学は、自立した財務基盤を確立させるため、大学経営上の抜本的な改革を行います。具体的には財務部門の中から、ファイナンス部門を独立させるとともに、現在ある事業開発推進室をさらに専門的なセクションとし、教育研究等に対する寄附を様々な形で受け入れる基盤を強化し、その寄附を持続的な運用によって最大化することを目指します。

欧米の大学経営では、「学長・プロボスト・CFO」のトライアングルが、強固な大学経営に資するものとされており、筑波大学においても銀行出身で資産運用の経験が長く、大学基金とも親和性の高い企業年金基金の運用トップを務めていた野手弘一氏を新たなCFOとして迎えることとなりました。

野手氏は、東京市場以外にもロンドン、ニューヨーク、シンガポール等で、様々な運用業務を経験しています。また一方で、自立と責任のあるガバナンス・コンプライアンス体制の強化のために、外部委員を過半数以上とする新たな資金運用委員会を設置します。

すでに本学では、昨年12月に大学経営にも精通し、かつ金融市場部門、そして公共法人や民間企業の資金調達などを担当する投資銀行部門での経験も長い益戸正樹氏を理事に迎えています。益戸氏は、15年以上にわたり経済団体での教育問題委員会活動や国立大学法人琉球大学、沖縄科学技術大学院大学の経営評議員などの経験があります。

新体制の下、大学経営上重要な寄附の獲得、その寄附を原資に資金運用の高度化を目指すエンダウメント投資による大学基金の拡大を進めていきます。さらに、本学の「筑波大学運用モデル」による専門人材の育成をしていくとともに、他大学との連携による運用や次代を担う子供達への金融教育など、新たな歩みを進めていきます。

【イメージ図】



令和6年4月1日に設置予定の事業・ファイナンス局は、世界と伍する研究大学に相応しい財務基盤を確立するため、財源の多様化及び基金の造成並びに運用による自己収入の拡大を一体的に推進することを目的としている。これらの目的を達成するため、以下の基本コンセプトを柱として設定する。

基本コンセプト

1. ガバナンス・コンプライアンス体制の強化

国立大学法人の資産運用において、**自立と責任のあるガバナンス・コンプライアンス体制の強化が最も重要であり、リスクを十分に考慮した上で、これらを大前提とする資産運用体制を構築**し、資産運用の高度化を図る。そのためには、資金運用委員会に外部委員を過半数とする体制を確立し、外部委員の意見をしっかりと反映できるようにする。また、リスクモニター制度を策定し、トリガーが発動すると臨時の資金運用委員会を開催するなど、臨機応変に対応できるリスクマネジメント体制の構築を図る。

2. 資産運用人材の育成

学内の意欲的な職員を公募等により資産運用・ファイナンス室で専門人材として育成し、**本学独自の「筑波大学運用モデル」を確立**する。その上で、他大学からのトレーナーなどを受け入れる人事交流も実施し、本学において身に付けた知識や経験を他大学でも活用してもらうとともに、各大学のニーズを踏まえながら共同運用も模索するなど、国立大学法人全体の資産運用の高度化を目指す。

3. 本学附属学校における金融教育への貢献

人生100年時代を迎え、政府は「貯蓄から投資へ」の流れを打ち出し、iDeCo（個人型確定拠出年金）やNISA（小額投資非課税制度）の制度の整備がなされた。そのため、若いうちから資産運用への基礎知識を学ぶ必要性が従来以上に生じてきている。

そこで、事業・ファイナンス局のコンセプトの一つの柱として、本学が有する11の附属学校（小中高及び特別支援学校）において、**金融・経済の次代を担う子供たちへ実践に基づいた金融教育が行われるよう積極的にこれを支援し、本学から我が国の金融教育の発展に貢献**したい。

1. 本学の研究成果の社会的価値への転換

本学は学際的研究を強力に推進しており、その研究成果を社会実装して社会課題を解決することにより社会的価値への転換を目指している。これを実現するために、民間企業等と本学がアンダーワンループで開発研究を推進できる施設として「IMAGINE THE FUTURE. Forum (ITF.F)」を建設し、この施設に**民間企業等の研究所を招致し社会的価値の高い開発研究を加速**する。

2. 大学運営に貢献できる基金の拡充

世界に伍する教育研究活動や学生の快適な学修環境を支援するために、**国内の国立大学で最大規模の基金獲得**を目指す。そのためには、国内だけではなく、海外の関係者との関係強化を図り基金獲得の範囲を広げる必要がある。これを可能とする**ファンドレイザー等の雇用拡大と育成の強化**を実現する。

3. 自立化に向けたエンダウメント運用

持続可能な自律した財務基盤を築くためにも、**エンダウメント投資による長期的な資産運用**を行う。この取組により運営費交付金に頼らない最新の教育や研究活動のための財源を確保することが可能となる。エンダウメント投資の資金は、本学が中心となり、国内の大学に対し協定等に基づく共同運用などにより、オルタナティブなどの投資資金を確保する。

【事業・ファイナンス局】

益戸正樹	理事(事業・ファイナンス担当)
UiPath株式会社特別顧問 元パークレイズ証券株式会社副会長・顧問 前株式会社肥後銀行社外取締役、現特別参与	
野手弘一	大学執行役員事業・ファイナンス局長、CFO
前株式会社三井住友銀行 企業年金基金 常務理事 運用執行理事	

【資金運用委員会(外部委員)】

資金運用については委員会を設置し、委員の過半数は外部委員とします。

高橋精一郎	運用分野
ホークスブリッジ・キャピタル株式会社代表取締役 CEO、ファウンダー 元株式会社三井住友銀行代表取締役副頭取(市場部門担当) 元金融庁参与	
本幡克哉	ガバナンス・コンプライアンス分野
日本取引所自主規制法人常任監事 元日本銀行検査室長・考査統括審議役 前商工組合中央金庫常務執行役員	
石川智久	マクロ経済分析分野
株式会社日本総合研究所 調査部調査部長・チーフエコノミスト 元内閣府政策企画調査官 元兵庫県資金管理委員会委員	
橋本幸子	国内外市場・投資分野
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社Vice Chairman、マネージメントコミッティメンバー、 元日本証券業協会「SDGsの推進に関する懇談会」メンバー	
峯島泰樹	不動産投資分野
東洋不動産株式会社顧問 前東洋不動産アセットマネジメント株式会社代表取締役社長 元三菱UFJ銀行執行役員投資運用部長	
佐藤順一	国立大学法人法第三十四条の三における業務上の余裕金の運用にかかる文部科学大臣の認定基準に基づき、「同窓会会員」として選任
株式会社カクヤスグループ 代表取締役会長兼CEO 一般社団法人茗溪会(同窓会) 理事	